

市と連携して事業展開

ACTIVE KUMIAI

■ 葦崎市環境事業協同組合

葦崎市の家庭ごみの収集袋には、葦崎市環境事業協同組合(向山陽一郎理事長・組合員7社)と組合員の事業所名が印刷され、市内の各所で販売されている。

組合は平成19年度から葦崎市の一般廃棄物(生活系)収集・運搬業務委託の共同受注を始めたが、平成20年からゴミ袋の作成費の一部に協賛する形で名称を入れており、市民や事業者からのごみの排出や分別についての問い合わせなどにも対応している。

また、毎年10月に開催される市のイベントである「武田の里にらさきふるさとまつり」にも出展し、市の環境保全活動やリサイクル推進のPRなども行っている。その他にも、組合の理事が交替で市民フォーラムの講師として出席し、環境問題に対する説明なども行っている。

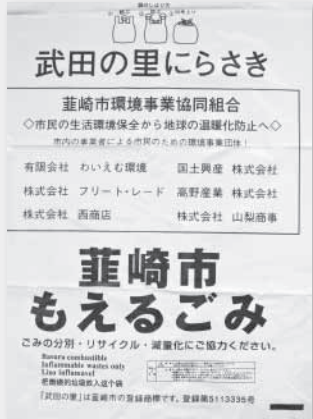
今年8月からは、向山理事長が葦崎市環境審議会委員に知識経験者という肩書きで就任、今後10年間の「葦崎市環境基本計画」の見直しの諮問に加わることとなった。向山理事長は、「組合の一般廃棄物(生活系)収集・運搬業務委託の共同受注も軌道に乗り、行政や市民との信頼関係も構築でき、最近では市からの問い合わせや市民からの苦情や要望にも組合として対応できる体制になってきた。組合としては、一般廃棄物(生活系)収集・運搬業務を

TOPICS



武田の里まつりでのPR活動

市に代わって行っているという自覚と責任感が必要である。今後、組合として市の要望に添う形でコスト削減や収集の効率化に最もよい方法を模索しながら、市民の環境保全活動に役立つような事業を進めていきたい。」と共同事業レベルアップの抱負を語った。



組合名と組合員名の入った収集袋